

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2020年5月号(年3回発行) 第153号

心配なのは新型コロナだけです

新年度がスタートし、新型コロナの猛威を心配しながらも行政や助成企業との連絡にあわただしい毎日を送っています。

FICEC自身の事業年度は9月末決算なので10月1日から新年度が始まり「ONE TEAMで頑張ろう」と決心したばかり。お正月にはスタッフ会議で新年の夢を語りあい、4月1日からは行政や企業との連携事業が新たにスタートするなど、私たちは年3回、気分を一新し、頭を切り替えるチャンスに恵まれます。事務的には少々ややこしい面もあるのですが、いつも能動的でいられるのはこのお蔭と感謝しています。

今年の4月も嬉しい事がありました。

①ふじみ野市が出入国在留管理庁から「外国人受入環境整備交付金」の交付を受け、FICECが「情報提供や相談を多言語で行うワンストップ型の相談窓口」として月～金の5日間、業務委託をいただけるようになりました。これでちょっとだけ拠点の維持費の悩みが減りました。

②コープみらい財団から「くらしと地域づくり」の助成を受け「外国人生活相談入門書の改訂版」を作り始めています。自己負担分を補うために出来上がりましたら500円で販売し、埼玉県中の生活相談窓口で活用していただきたいと考えています。

③ベネッセこども基金から「経済的困難を抱える子供の学び支援活動」の助成をいただき、「留学生や母語話者による来日直後の外国人親子に対する日本語学習支援と相談」事業が実現できることになり、スタッフ全員が係る役割分担をしている所です。

不安を抱えた来日直後の外国人親子に、日本の生活やルール・ひらがな・カタカナを教え、家族の方には日本の学校生活についての準備をしてもらい、子どもには学校生活に1日も早く慣れてもらいたいと思っています。

また地域の企業と連携を取り、仕事に役立つ初級日本語を指導するとともに、現場での労働災害を防ぐための学習をしてほしいと思っています。

心配は新型コロナだけです。1分でも早く新型コロナウイルスに強い抗体医薬品が開発され、ビクビクしないでみんなが生活できるようになることを願っています。

石井 ナナエ

「インフォメーションふじみの」への思い

『インフォメーションふじみの』は「生活に必要な情報を多言語で届けたい」と、FICECを設立した1997年当初からスタートしました。その情熱を23年間継続して発行できたのも、翻訳してくださる皆様のおかげと感謝しています。6人の翻訳者と表紙を飾る日本情緒あふれるイラストレーションを描いている方を紹介します。皆さんにはFICECや『インフォメーションふじみの』への思いを綴っていただきました。



ポルトガル語
木場ひろみ

FICEC発行”インフォメーションふじみの”(97年から)は、急速に変わりゆく社会の流れに必要な情報を日本在留外国人に多言語で知らせる大切な情報誌です。目まぐるしく進化する情報システム、人々の往来。しかし、いつの時代にも変わらぬものもあります。それは、周りの人への思いやりの心。いつの時代にも求められるもの。その思いがずっと詰まっている“インフォメーションふじみの”。ずっとずっと続きますように！
Procurado por pessoas em qualquer tempo.No boletim está repleto disso. Dure ininterruptamente!



韓国語 鄭玄淑

1994年に来日した、鄭玄淑と申します。正式に日本語を学んだことのない私は、日本語を学ぶためにセンターを訪問したのですが、ちょうどその時、韓国語先生が不在で急に私が韓国語の先生になりました。韓国人というだけで、韓国語を教えた経験がなかった私でしたが、勉強熱心な方々と良い思い出を作ることができました。この場を借りて感謝の気持ちをお伝えいたします。また、岩田さんにお声がけいただき始めた「インフォメーションふじみの」の翻訳は、今でも継続してお手伝いさせていただいております。まだ足りない私ですが、私のように韓国から来日なさった方々に少しでもお役に立てれば幸いです。ありがとうございます。감사합니다.



タガログ語
穴沢エミリン

マブハイ！（かんぱい！）スタッフの皆さん、スポンサー、FICECを支えてくださる人たち、心からありがとうございます。翻訳を始めてからもう23年が過ぎました。私達多くの外国人はFICECから必要な確情報を得る事ができ、いろいろな場面でサポートをいただきました。FICECは外国人が地域の日本人と馴染むことができる橋のような機会を作ってくれます。文化や習慣が異なっても同じ市民として、安全な暮らしができるように、FICECは私達の背中を押してくれます。大変感謝しています。マラミンサラマット！Maraming salamat.



スペイン語
ダリオ・カスティラノス

妻と私、ダリオ・カスティラノスは1991年に富士見市に来ました。私たちは大井中央公民館で日本語の勉強を始めました。阿澄夫妻からFICECを紹介していただき、日本での私たちの生活はさらに充実しました。FICECは親切な日本人と外国人ボランティアで成り立っており、子どもたちやその家族も助けてもらえました。FICECの石井ナナエさん、そしてすべてのスタッフの皆さんへ、これまでの、そして今後の活動に対して感謝の意を伝えたいと思います。Gracias FICEC, gracias Sra Nanae Ishii y demas miembros.



英語 茂木久美子

2013年からFICECで、週1日のスタッフ当番と英語翻訳を担当しています。昔東欧にいた頃、幼稚園が英語環境でした。17年間電機メーカーに勤め、二人目の子どもを出産して退社後、在宅で翻訳会社から実務翻訳の仕事を受けてきました。情報誌「インフォメーションふじみの」では、英語ネイティブではない方にもわかりやすい英訳をこころがけています。スペイン語、フィリピン語へは英語から翻訳するため、早めに仕上げるようにしています。



中国語 江科

「インフォメーションふじみの」の翻訳に携わってからもう6年になりました。漢字で表示されている固有名詞についてはできる限りそのまま漢字で、なるべく分かりやすい中国語を使い、少しでも外国人に役に立つ生活情報を伝えられるように努めるのは私の翻訳モットーです。

「何事もやり続けることに意味があるのです」は大好きな言葉の一つです。微力ながらFICEC、在日外国人のお力添えができましたら幸いです。我会能为FICEC及在日的外国朋友们尽上一份微薄之力而感到骄傲。



イラスト 林由紀子

皆さん、こんにちは。「インフォメーションふじみの」表紙のイラストを描いている林です。FICECの活動の中で微力ながらその一端を担うことをとても嬉しく感じながらいつも描いています。2011年7月から始めた表紙イラスト制作も最新号で73枚目となりました。身近にある日本の伝統的なモノの良さを感じ、興味を持ち、その手に取って頂けるような表紙絵を描いていきたいです。これからもよろしくお願ひ致します。

将来の夢は、起業すること

ウマル ムハマド

父と二人の兄が日本で働いていたので、学校の夏休みを利用して、日本には度々遊びに来ていた。本格的に日本に住むことになったのは、パキスタンの中学校を卒業した16歳の時だった。日本は安全できれいな国だと思った。街の中で、けんかしている大人を見かけないのはパキスタンと違う。

日本語は全く分からなかったので習いたいと思った。兄の一人が、三芳町役場に行って、FICECのパンフレットをもらって来てくれた。そこで初めてFICECの事を知った。

初めて日本語を習って、日本語はパキスタンの言葉と違い難しいと思った。最初に覚えた言葉は、「おはようございます。」だった。いい響きだと思い気に入った。

日本語が話せるようになりたかったし、日本の生活のルールや習慣なども知りたいと思った。それには、長い時間勉強する必要があると思い、FICECに行って勉強する所がないか相談した。そうしたら、高校に入る事を勧められた。でも、日本の高校に入るためにはどうしたら良いか分からない。そこで高校受験の為の勉強を教えてくれる、「多文化共生フリースクール」という学校を紹介してもらった。それは新宿の新大久保にあった。週4回そこで勉強して、土曜日は宿題を持ってFICECの国際子どもクラブで勉強した。

フリースクールには、色々な国の生徒達が、高校入学を目指して勉強していた。パキスタンや色々な国の友達がたくさん出来た。都内の高校を目指していた人が多く、埼玉の高校を受ける人は少なかった。イベントや遠足もあってとても楽しかった。

高校の入学試験はとても難しかった。英語のリスニングはできたけど、その他の教科は全くできなかった。面接の時はとても緊張した。やっと川越市にある定時制高校に進学することが出来てほっとした。

進学した高校には、FICECの子どもクラブで一緒に勉強した友達が数人いたので、少し安心した。学校では、授業が始まる前に給食があった。でも食べられる物がほとんどなかった。それで、いつもコンビニのおにぎりを給食代わりに食べていた。だからコンビニのおにぎりは食べあきてしまった。

親にお金の負担をかけないように、学校の費用は



アルバイトをして貯めた。カーテンのクリーニングの仕事をした時、病院や会社から届く洗濯物の伝票を書きながら漢字を覚えた。

初めて行った1年生の時の遠足は、とても楽しかった。浅草に行ってみんなでたくさん写真を撮った。昼食にラーメンを食べた。でも僕だけ特別の野菜ラーメンにした。あまりおいしくなかった。授業でろうそく作りをしたのも面白かった。ろうそくは今も家に飾ってある。日本の先生は、みんな優しいと思った。ガス溶接の免許や、フォークリフトの運転免許を取った。自動車の運転免許も取ろうと思いい習所に申し込んだ。教習を始めたばかりの時、アルバイト先で手のひらに大けがをしてしまった。7針も縫う大けがだったため、免許は途中であきらめた。今度また挑戦したいと思っている。

今年の3月に定時制高校を卒業した。卒業式が来るのをとても楽しみにしていた。しかし、コロナウイルスの影響で寂しい卒業式になってしまった。つまらなかった。

これからも日本に住むつもりだ。でも、自分のビザの関係でなかなか良い仕事が見つけれない。将来は、車関係の仕事をしたいと思っている。たくさん働いてお金がたまったら、自分の会社を作りたい。

(インタビュー:国際子どもクラブ 山畑)



スタッフ紹介 My Home Sweet Home

ギャレット三宅万里子

私のホーム・スイート・ホームは東京、アメリカ、福岡、埼玉なのです。東京で育ち、短大を卒業と同時にアメリカに留学したのが21歳の時でした。アメリカ留学を保守的な南部のアラバマ州で過ごし充実した学生生活を送りました。卒業と同時に父は「女の子ひとりアメリカで何をしている。直ぐ日本に帰ってきなさい」と言ってきたのですが、少し仕事をしてからと説得して、隣州のジョージア州アトランタ市で仕事を見つけて働き始めました。ここで後に夫となる彼との出会いがあり、結婚となりアメリカ永住となりかけたのですが、夫が一度日本に住んでみたいと言いだしたのです。すでに両親は他界しており、姉は埼玉にいましたが、当時九州の福岡に住んでいた兄を頼って引っ越してきました。福岡で夫は大学非常勤講師として又、私は美術館で職を得て、夫婦で日本での再スタートを切る事ができました。始めは九州弁が理解できず、又相手も私のアメリカなまりの日本語が不可解であったようで、環境慣

れに苦労しましたが、福岡で多くの友人を得て、適度にコンパクトで快適な立地条件の福岡にすっかり慣れ落ち着いてしまいました。しかし1月の寒い日に大学より電話を受け夫が講義後に心筋梗塞で倒れたとのことで突然帰らぬ人となってしまいました。そして、姉より2世帯住宅の2階を使いなさいという誘いがあり、美術館退職後、2年前に埼玉県富士見市に引っ越して来ました。富士見市に来て毎日姉夫婦の顔ばかりみて過ごしている中、富士見市役所で情報誌を手にしたのがふじみの国際交流センター発行の「ハローフレンズ」と「Information Fujimino」でした。なにかお手伝いできる事はないかと早速飛び込みでセンターに行き、即座にスタッフになり、今にいたるわけです。

To Kill a Mockingbird (アラバマ物語)のアラバマ州で人間尊厳を、Gone with the Wind (風と共に去りぬ)のアトランタで明日への希望を、福岡では自立を学びました。

埼玉では益々翔んでいく私になるかもしれません!



「なつかしい家族の味・キムチ」安 銀柱

私が幼かった時、毎年11月になると家の庭には白菜100個、大根100個が山ほど積まれていました。そして、近所のおばさんや親戚のおばさんが集まって一年分のキムチを漬けました。大根を切り、ニンニク、ショウガ、ネギ、塩辛、唐辛子などを混ぜた「ソク」を白菜の葉っぱの間に丁寧に入れる「キムジャン」という作業をしている姿が今でも懐かしいです。キムジャンの日の前には美味しく新鮮な材料を手に入れるために、新鮮な塩辛や唐辛子、ニンニクを大量に買うため、わざわざ地方まで買いに行きました。

材料購入から近所や親戚の家のキムジャン手伝いが終わると、「もうこれで一年は大丈夫」と、世のお母さんはほっとしたものです。韓国人にとって「キムチ」とはお母さんの大変な苦労と家族への愛情、親戚やお隣りさんとの助け合いの産物そのものです。

キムチは地方によって、味が違います。

キムチに魚や肉を一緒に入れて発酵させるなど、地方によって味や種類が変わります。家によって代々伝わる秘伝があって、家ごとに味が違うことは言うまでもありません。そして、日々発酵が進むことで、昨日食



べたキムチと今日のキムチとでは味が変わります。ですから、世の中に同じ味のキムチは存在しません。

核家族化が進んでいる今では、キムジャンをする家庭も少なくなってきましたが、今も11月になると、主婦は大忙しです。キムチは豆腐と一緒にチゲにしたり、細かく刻んでチャーハンや餃子、チヂミに入れたり、蒸しキムチや鍋に使ったりと、いろいろな料理に活用できます。

キムチには、1gに数十種類の乳酸菌が1億以上入っているとされ、抗癌作用、整腸作用、成人病予防などの効果があるとされるなど、健康にも良い食べ物です。

昔お祖母ちゃんとお母さんが作ってくれたキムチの味が恋しいです。



応援しています

ふじみの国際交流センターへの思い

権田貴久子

庭先の河津桜も、季節を急ぐかのように、散り始める春暖の候、世界中が初めて経験するウイルスの事がトップニュースの毎日です。マスク姿の人々や全てのイベントが制限されるなんて去年の今頃誰も想像できなかったでしょう。FICECに関心を持って20年以上すぎた今、ナナエ理事長とお会いした初めてのイベントは県の女性海外派遣の一員として参加した時でした。12日間独、スウェーデンへの研修時、石井さんは日本語教室で在日外国人へのヘルプ活動をスタートされており、印象的でした。当時私は又エックで研修中の外国人への案内やホームステイのボランティアをしており、派遣終了後の目途は、男女共同参画など難題とされる事柄を日常生活にマッチさせるため県や行政の講座を受けてヒント探しをしていました。地元では韓国人妻の家族の息子さんが自宅の塾生で、相談を受けたりした位だったので、貴セン

ターの報告書やニュースで活動を知り全面的に支持して来まして、去年からマンスリーサポートに微力ながら協力し始めたところです。県内でも希な認定NPOとして、近年新聞、テレビで何回となく取材され自慢の活動団体です。

心優しい笑顔のステキな石井さん始め、周りのスタッフの団結力も目に見えるようです。

長年出入国外国人への法律も不備だったのが改善、成立されて暮らし易くなって、皆さんの長年の努力が報われてくるものと信じております。具体的な行動が出来ない身にとって今後も何か必要な出来る事がありましたら、お声かけください。

“毎日が波乱万丈”の冊子を読むにつけ、感動を少しでも共有できて幸せに思っております。経験豊富な、つまり年を重ねている皆様の健康とご自愛の程、お祈り申し上げます。

見送りの3振より空振りの3振 パートⅡ

石井ナナエ

○月○日

吉永小百合さんがパンがお好きと知って朝食をパンに代えた。キューポラのある街や青春の門の頃からのあこがれの人。エレガントで頭脳明晰スポーツ万能と、天が二物も三物も与えた人。1mmでも近づけないか。無理を知りつつ座右の銘を唱える。見送りの3振より空振りの3振。いくつになっても夢はつきない。新型コロナウイルスにも負けないぞ。

○月○日

80歳の母親を連れて「日本の老人ホームで面倒をみてほしい」と中国人夫婦がセンターに来た。

親を日本で扶養するためには、いくつかの条件が必要である。実の親であること・年齢が65歳以上で母国で一人で生活するのが難しいこと・母国や外国に老親の扶養者が存在しないこと・本当に日本にいる子どもしか扶養する人が居ない状況を証明することが求められる。老親を受け入れる日本の家族が自力で扶養できるだけの経済力と生活するスペースがあるか調べられ、条件が揃えばその老親は短期滞在で最大2か月日本に滞在中、その後、特定活動ビザに書き換え、家族との同居が認められる。この方の場

合、娘さんが介護に疲れ施設への入居を希望しているわけで問題は複雑。

日本人の高齢化が深刻で、どこの老人ホームも人手がなく入管法まで変更してヘルパー募集をしている現状の中で、一人っ子政策時代の日本で暮らす中国人の、その親が高齢化していく現実も考えると、介護政策はこれからますます重大になる気がした。

○月○日

日本人夫からのDV被害を受けたMさんをFICECのシェルターで保護したのは4年前。A市にアパートを借り、子どもを保育園に預けて仕事を始め、元気に暮らす様子をFacebookで見ても喜んでいた。

出血が止まらなると相談に来た彼女に同伴して病院へ行くと、癌が蔓延していて手術が必要と言われた。輸血用の彼女自身の血液を採取するためにフィリピン人スタッフが毎週病院に同行通訳に行っている。貯金もなく頼れる家族も友達もいない。もしもの事があれば4歳の子どもは孤児になってしまう。なんでこんなに悲劇が続くのか。手術がうまくいきますように。心の底から祈っている。

今後の「café FICEC」

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて「Café FICEC」もしばらくお休みしています。もともと身近な国際交流を通して、日本に住む外国人のことや私たちの普段の活動を知ってもらいたいとの思いから始めました。基本的にお茶や外国の食べものなどをつまみながら、おしゃべりを楽しむだけの気楽な集まりです。

今後も日本人、外国人を問わず沢山のの人に参加してもらえそうな企画を考えています。

その一つ「英語で話そう」は、全て英語のみで外国人と日本人が色々な話題について話しあったり、ゲームをしたりする企画です。

開催の日取りは、新型コロナウイルスの感染収束後になるのでまだ未定ですが、一日も早くまたみなさんとお会いできる日が来ることを願っています。



過去のcafé FICECで行われた、企画の一部です。今後ともみなさんの参加をお待ちしています！



FICECオリジナルピンボール台制作

七夕祭りなどのイベントで子どもたちに大好評だったピンボール。いつもピンボール台はよそから借りていたのですが、このほど工作の得意な室井理事がご自身の工房でピンボール台を制作してくださいました。

まっさらなピンボール台に絵を描いて、にぎやかで楽しいものにしようと、イラスト担当スタッフが絵を起し、その絵をピンボール台にトレース。その後は色塗りの協力を申し出てくれた何人かのス

タッフに手伝ってもらいながら、少しずつ仕上げ作業を進めていきました。通常の仕事の合間をぬって、時にはお茶とお菓子で一服しながら、およそ一ヶ月程かけて絵のパートが出来上がりました。

最後に室井理事が再びご自身の工房で釘を打って完成となりました。試しに遊んでみましたが、ボールが釘にあたる音がきれいな、楽しい台になりました。子どもたちがこれで遊んでくれる日が待ち遠しいです。



ピンボール台と制作者の室井理事



イラストを台にトレースして色を塗っています。



みんなの協力を得て、だんだん完成に近づいてきました。



イラストができあがりしました。この後、釘を打って完成しました。

募集中

FICECでは、翻訳・通訳・生活相談に関わってくださるボランティアを募集しています。
対象言語は英語・中国語・タガログ語・フランス語などです。お問い合わせ、お申し込みは電話かメールのフォームから連絡してください。よろしく申し上げます。



FICEC HPの
メールフォーム



ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

マンスリーサポーター募集中!!

在住外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただき、わたしたちの活動が今後も継続して行けるようになればと、切に願っております。ご理解ご支援をお待ちしています。

マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でも受付しております。

住所 〒356-0004

埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25

電話 049-256-4290
または 049-269-6450
FAX 049-256-4291

認定NPO法人 ふじみの国際交流センター
マンスリーサポート係

- ②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。
- ③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。
- ④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

スポットサポーター募集

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)
または、現金書留でお願いいたします。



広告

立麻小児科・内科

担当医:立麻典子

- 予防接種：月、火、木 PM 2:30～3:00 要予約
- 乳児健診：金 PM 2:30～3:00 要予約

※お母様のお仕事の都合などで上記の時間帯にいらっしゃれない場合には、ご相談ください。

電話 **049-261-1182**

住所 〒356-0058 ふじみ野市大井中央4-11-14

	月	火	水	木	金	土
午前 9～12時			休診			
午後 3～7時			休診			休診

水曜日、土曜午後、日曜日、祝日は休診です。

○お店の広告を出しませんか?詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

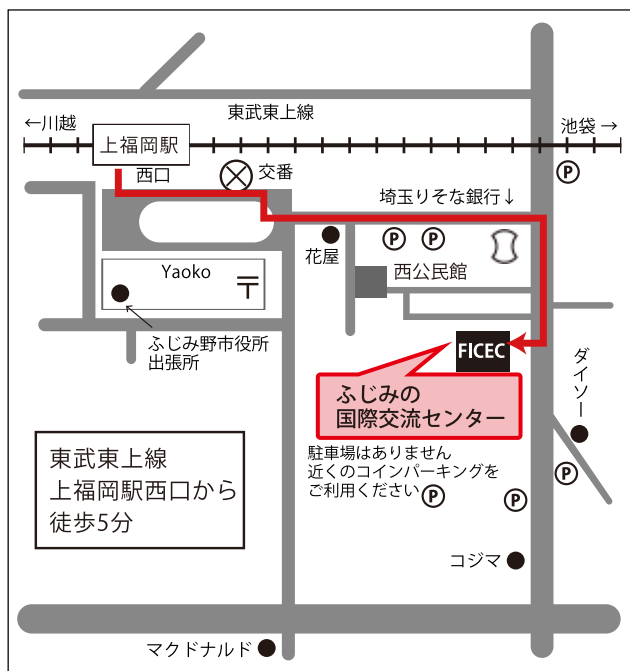
郵便振替口座：00110-0-369511
 口座名：[特活]ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00
 電話：049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介します。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人
ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます

●2019年4月1日～2020年4月20日(敬称略)

〈団体〉丘亜蘭、国際ソロプチミスト埼玉、立麻医院
 立麻典子、田村工務店、東入間地区遊技業防犯協
 力会、立正佼成会一食運動

〈個人〉秋池敏子、秋本ノエミ、阿久津俊昭、穴沢エミ
 リン、安部幸枝、新井順子、新井節、新井良司、荒田光男、
 安銀柱、生村康之典、石橋勝、石山達也、岩田愛子、岩田
 ひさよ、岩田仁、上島直美、午込亜紀子、江釣子孝一、
 王、尾浦邦彦、大沢エミリー、大澤さよ、大場弥太郎、
 小川仁也、尾崎功、大室昭浩、片倉ミン、加藤久美子、
 加藤陽一、金子廣志、狩野照乃、川井敏生、川口久子、
 神田歩、神田順子、岸上友香、木村不二雄、ギャレット
 三宅万里子、樟山直美、熊谷洋興、栗島美千代、木場
 ひろみ、小林暁美、小林和恵、駒形一夫、近藤知代、蔡、
 酒井有香、坂入智子、佐藤茂、佐藤義治、サプコタ、江
 科、邵玲揚、高橋圭子、武田和子、橋賢、田中功、近沢
 エルザ、チョン玄淑、チンテイバン、坪田幹男、寺村壁如、
 戸塚成子、富田恵子、富田慎太郎、豊枝洋子、中川令子、
 仲野谷美恵、中村禎作、中山のり子、南部英司、西山正浩、
 野沢弘子、野田恭三、野辺頼之、萩原教生、朴、長谷川
 雅恵、長谷川正江、林田信幸、久光陽太、福吉真那、
 保坂佐紀恵、星野真弓、松尾恭子、三浦清子、三橋、
 村井美穂、村山光代、茂木久美子、矢澤美紀、山口満江、
 山崎友理、山畑博子、山本健一、吉井ジュリエッタ、吉沢
 悦子、劉海燕、渡邊邦枝

〈マンスリーサポーター〉石井幸夫、石井ナナエ、
 遠藤慧子、太田政男、小林久美、末吉智子、中島
 恵津子、中田好江、中山浩子、野田恭三、野辺頼之、
 藤井みどり、八重樫紀久枝、権田貴久子

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付
 をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センターサービス案内		
外国人	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費
ゲスト派遣	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
講師派遣	多文化共生講座 ボランティア講座	20,000円+交通費 (活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関する イベントや研修の企画・運営等	内容・予算に 応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイド ブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ 申請、履歴書	A4 2,000円/ページ
	その他文書	A4 3,000円/ページ
通訳	半日5,000円+交通費	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日

ボランティア活動に、ご参加ください

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、
 生活相談・外国籍市民との交流・手助けをするボラン
 ティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページ
 から、お気軽にご連絡ください。